

ノース・ダコタ州：小麦作柄と気象状況

2002年7月23日

州南西部を中心に平年を数度上回る最高気温を記録した。降水は州の南東地区及び中央地区にて記録されたが、西部地方では殆ど降水は無かった。土壌水分は、州を西中央地区（地区4番）、南西地区（地区7番）及び南中央地区（地区8番）にて“極めて不足”の状態である。州東部の各地区並びに北中央地区では“適”となっている。南東地区及び中央地区では計 0.77～1.14 インチの降水量であった。この地区の硬質赤色春小麦の状況は改善した。州平均の農作業可能日数は 5.9 日であった。全州でおおよそ 26%の硬質春小麦が Turning（去年同期で 12%、平年同期 20%）。作柄は 43%が“平年並かそれ以上”と評価されているが、去年同期の同評価は 74%であった。尚、春小麦の 69%が乳熟期に在り、高温・乾燥は減収の原因となる。

生育が平年より遅れ気味であったデュラム小麦も、ここに来て高温・乾燥条件が成熟を早めている。但し、作柄は平年より悪い。28%が乳熟期に入っている（昨年 26%、平年 30%）。水分と正常な気温を必要とする時期である。開花期と乳熟期に夫々数日有った 100 度 F を越す高温は、春小麦の単位収量の減収に繋がり、春小麦の市場価格の高騰を引き起こしている。

2002年7月21日現在

土壌水分：

Topsoil

	Very short	Short	Adequate	Surplus
This week (%)	19	25	53	3
Last week (%)	21	25	50	4
Last year (%)	0	8	78	14
5-yr. Ave. (%)	2	13	74	11

Subsoil

	Very short	Short	Adequate	Surplus
This week (%)	20	24	53	3
Last week (%)	19	26	50	5
Last year (%)	0	7	79	14
5-yr. Ave. (%)	1	12	74	13

小麦作柄：

	Very poor	Poor	Fair	Good	Excellent
Spring wheat (%)	10	14	33	39	4
Durum wheat (%)	5	11	38	44	2

小麦生育状況：次ページ

ノース・ダコタ州：小麦作柄と気象状況
2002年7月23日（続）

小麦生育状況：

	This week	Last week	Last year	5-yr. Ave.
Spring wheat				
Boot (%)	97	92	97	95
Headed (%)	92	79	90	87
Milk (%)	64	41	55	57
Turning (%)	26	15	12	20
Durum wheat				
Boot (%)	87	69	92	86
Headed (%)	74	42	78	71
Milk (%)	28	17	26	30
Turning (%)	7	4	2	6

Source: North Dakota Agricultural Statistics Service